幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2023年9月度　定例会

日　時　9月11日（月）　13：30～15：30
会　場　ウェルス幸手（機能回復訓練室）
司　会　S

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）ロールプレイ（Sさん）

2. 今後の予定
   1）10／16（月）ピアサポート（Ñさん）（機能回復訓練室）
   2）11／20（月）健康体操（Wさん）
   3）12／18（月）認知症の寸劇

3. お知らせ
   1）敬老会のボランティア9/18・・・Òさん Kさん Hさん
   2）社協福祉祭り打ち合わせ会　9／8　午前9:00～（S）
   3）個人宅傾聴の再開　3年と6か月ぶりの再開となります。
   4）幸手駅ギャラリーにピースが健康福祉祭りで使用したポスターが10月1ヶ月間展示されます。

◎8月度議事録
   1）8月度定例会参加者　16名
   2）皆さんからの個々人の近況報告を兼ねた一言に大変盛り上がりました。

※今月のことば　「一目でわかる傾聴ボランティア」より
◎質問・・・より会話を深め、展開していくために、質問をして相手の気持ちや考えを聴きましょう。質問は大きく分けて2種類あります。
◎開かれた質問
・昨日のお祭りはどうでしたか？
・今日は何を食べたいですか？
・・・話し手が気持ちや考えを自由に答えられる質問
・・・欠点は、開かれた質問ばかりすると、相手が疲れてしまうことがあります。
◎閉じた質問
・昨日　お祭りに行きましたか？
・今日の昼食は、おそうめんでいいですか？
・・・話し手が「はい」「いいえ」、あるいは一言で答えられるような質問
・・・欠点は、閉じられた質問ばかりすると、話が広がって行きません。
◎話し手を理解するためや、問題をはっきりさせるため、時には質問して情報を収集する必要があります。「開かれた質問」「閉じた質問」には、それぞれ長所、短所があるので、臨機応変に使うことが求められます。
質問ばかりすると、責められているように感じ、不安にさせてしまうので、気を付けましょう。